

まったく、コノ一がキのタシ
流し」という批判は正当なもの
だ。

しかし、コノ一がキをタシ流
すことにも、何かいい所はな
いだろうか。小さな集りだけ
ども、続けて話し合う場を持つ
ことは、釜の労働者にとって全
く必要のないものだろうか。

今日は、夜間学校のあり方、
夜間学校が釜崎で存在するこ
この意味を考え、話し合ってみ
たいと思う。

参加者の誰もが先生であり、
生徒として、自分達の生活が
かえる問題、飯場のこと、病
気のこと、トヤのことなどを
話し合っつて、どうしたらいいか
を話し合う場として出発した夜
間学校は、もともと行方を呼び
かけ、闘争の本体とはなりえな
いものであった。しかし、闘争

をになう仲間をつくること、問
題にとり組む姿勢を自分のもの
とすること、問題を仲間全体に
関わりあるものと知らせること、
などが、少しでも出来れば、と
いう希望をいだいて出発したも
のであった。

「お前ら、そんなたいそうなも
のか」という声が開こえそうだ
か、そういう思い込みがなければ
ば続けられないと思う。思い上
つていするように受け取られれば
申し訳ないと思えるのかないか……

長いことピロ配りをしてくれ
ていた学生さんが、結婚・卒業
して釜にこれなくなった。生活
上の問題で、二こともあつて、常
連メンバーが減り続け、少し気
弱なグチめいたことを書いたが
反省すべきは反省して、多くの
仲間に参加してもらえ、夜間学
校にして行きたいと思えている。

新今宮小中跡地のこと

新今宮小中学校の跡地を労働者
と子どものために「解放」せよ
の要求についての、大阪市との
交渉が一月二七日(月)持たれた。
大阪総評、いのちこくらを
守る府民共闘会議の協力を得て

おこなわれたものだが、約束し
ていた民生局が出席せず、教育
委員会だけの出席だったので、
最初からめめたが、次のような
説明があつた。

「大阪市教育委員会と民生局は
何度か新今宮小中跡地の活用に
ついて話し合っているが、まだ
明確に外部に示せる段階でない
こと、現在、新今宮小中の跡地
は教育委員会が管理しているこ
となどから、今日は教育委員会
だけの出席となつた。

つきりしてないが、子供を
中心としたものを考えている。
これに対して、「計画が確
定する前に、民生局をまじえ
て話し合いの場を設けること、
子供と大人を分ける考え方に
は賛成できない、大人と子供
が一緒に使えるものとするこ
と」を要求し、再度の交渉が
約束された。

みんなの署名を集めてから
一年以上たっているが、決し
てムダになつていっているわけでは
ない。
「これを書いているのは水曜
日。水曜日には釜のことか毎
日テレビに出るはず。釜に対
する世間の目が少しでもかわ
ればと思いい取材に協力したが、
果して結果はどうか。
二八日、朝日放送の山谷報
道はゆりと思つたのだが……」